

渇水対応タイムラインアンケート結果

●アンケート取りまとめ期間：令和4年3月～令和4年5月

●アンケート依頼機関：35機関

●アンケート回答機関：34機関

●アンケートに対する回答状況

渇水タイムラインの運用について改善点や意見の有無等については、おおむね、「特になし」との回答であった。

その他、改善点や反省点等の主だった意見を下記に記載。

1. 共通（河川管理者や利水者以外）

①「玉川合流点上流の雄物川本川筋（本川上流部）の対応につきましては、今後、成瀬ダムの完成を踏まえた対応レベル基準等の検討を進めて頂きたいと、お願い申し上げます。」

②秋田県の機関から、タイムライン上の各機関の取組の記載で、「田沢湖の水位監視」、「田沢湖のPH監視」などの記載について、当該機関で直接管理していない項目で削除してもらいたいとの記載がありました。記載内容について個別にご相談させていただきます。

2. かんがい

①「レベル4の「地下水の利用」のために、レベル3で「地下水利用の準備（動作確認など）」があってもよいかと思えます」

→ 今後のタイムラインの改定の検討に活用させていただきます。

3. 工業・水道

①「レベルの判断基準とレベル毎の実施内容等が示されており行動に移しやすい。内容は、経過等を反映させながら改訂すべきと考える。」

→ 今後のタイムラインの改定の検討に活用させていただきます。

4. 発電

①「令和3年度渇水時は渇水タイムラインの運用により大きな被害もなく対応出来たと感じます。今後も各渇水レベル前の水位であっても渇水レベルに移行する前段階で情報提供などいただければ、なおよい運用になると思います。」

→ 事務局として、渇水レベルに移行する前段階での情報提供に務めてまいります。

5. 河川管理者

①「もっとテレビやインターネット等で PR する必要があると思う。渇水の有無に関わらず毎年、節水する習慣を身につける事が重要だと思う。」

②「HP で渇水によるダム貯水位の低下状況を写真で広報を1度した程度であったため、今後は1週間毎等、定期的に水位の低下が分かり、節水意識が向上できる様にできればと思う。」

→ 渇水時の広報、情報発信の事例等について、連絡会での情報共有を進めてまいります。